

## 病院案内

診療科目：精神科 神経科 病床数：230床

診療時間	(受付時間)	月	火	水	木	金	土
9:30~	9:00~11:30	○	○	○	○	○	○
14:00~	13:30~15:30	○	○	--	○	--	--

※休診日：水・金・土曜日の午後 日曜日・祝祭日 年末年始・お盆

※面会時間 9:30~16:30

### ★お知らせ

メンタルホスピタル鹿屋では、地域での講演、事業所でのメンタルヘルスに関する講演、うつ病などの研修会等お引き受けいたしております。  
お気軽にご連絡ください。



令和4年4月1日

### ★予約については

初診と木曜日午後

第1週目土曜日 児童思春期外来

## 診療実績

2021年度	外来患者数	初診	1日平均 外来数	月入院数	月退院数	平均入院 患者数	平均在院 日数
1月	1,645	72	72	22	27	206.9	261.8
2月	1,644	80	74.7	28	27	205.9	209.6
3月	1,818	91	69.9	26	30	205.2	227.2
認知症関連：24.3 (3ヶ月平均)				病床稼働率：89.5% (3ヶ月平均)			

### 認知症疾患医療センター

専門医療相談窓口 ☎ 0994-36-1870

受付時間：午前9時～午後5時 月～金  
(祝日、年末年始を除く)

連携担当員：西迫

主な役割

- ☞ 認知症疾患に関する専門医療相談
- ☞ 鑑別診断とそれに基づく初期対応
- ☞ 合併症・周辺症状への急性期対応
- ☞ かかりつけ医等への研修会の開催
- ☞ 認知症疾患医療連携協議会の開催

### 編集後記

新年度の始まりを迎え皆様いかがお過ごしでしょうか。公園や河川敷にも桜が咲き始め心地よい季節になりました。春は出会いや別れの季節といわれますが、皆様の周りでも少なからず環境の変化があった方がいらっしゃるかもしれません。この度、約20年ぶりに帰郷しました。聞き馴染んだ鹿児島弁、桜島の降灰、鹿屋市の畜産の臭い等懐かしく感じております。その中でメンタルホスピタル鹿屋の職員として働き始め半年が過ぎました。これからも患者様の心に寄り添いながら働きたいと思っています。コロナ禍の中、皆様もお身体ご自愛頂き春を満喫してください。



メンタルホスピタル鹿屋

〒893-0037

鹿児島県鹿屋市田崎町 1043-1

☎ 0994-42-3155 fax0994-42-3156

# おおすみ 四季いろどり



(医療理念)

1. 地域で必要とされる医療機関を目指し、良質な医療を提供します
2. 患者さん中心としたチーム医療をおこないます
3. 全職員は最良(最善)の医療を提供するために常に自己研鑽します



(基本方針)

1. 精神障害者に対して、救急・急性期治療をはじめとする医療を提供するとともに、リハビリテーションの実施をはじめとする各種社会復帰のための支援を行うことで、公衆衛生の向上を図ります
2. 生活困難者に対し、無料または低額な診療を提供することで、公衆衛生の向上を図ります
3. 地域住民を対象にした予防措置や治療方法等の普及・啓発の実施、各種相談への対応を行うことで精神科医療への理解促進と地域の福祉向上を図ります
4. 精神科医療の担い手確保を視野においた医療従事者の養成および再教育を図ります

(患者さんの権利と責務)

1. 良質な医療を公平に受ける権利があります。
2. 一人の人間として、その人格、価値観などを尊重され、医療提供者との相互関係の下で医療を受ける権利があります。
3. 病気、検査、治療、見通しなどについて、納得できるまで十分な説明と情報を受ける権利があります。
4. 十分な説明と情報提供を受けたうえで、治療方針などを自らの意思で選択する権利があります。
5. 自分の診療記録の開示を求める権利があります。
6. 診療の過程で得られた個人情報の秘密が守られ、病院内での私的な生活を可能な限り他人にさらされない権利があります。
7. 良質な医療を実現するためには、医師をはじめとする医療提供者に対し、患者さん自身の健康に関する情報をできるだけ正確に提供する責務があります。
8. 納得できる医療を受けるために、医療に関する説明を受けてもよく理解できなかったことについて、十分理解できるまで質問する責務があります。
9. すべての患者さんが適切な医療を受けられるようにするため、患者さんは、他の患者さんには、他の患者さんの治療や病院職員による医療提供に支障を与えないよう配慮する責務があります。

No.34 2022年4月号

公益社団法人 いちじょうの樹  
メンタルホスピタル鹿屋

## CONTENTS

- ・ 広報委員会だより (HPリニューアルに伴うお知らせ・案内)
- ・ 認知症サポーター養成講座
- ・ 認知症疾患医療センター担当者お知らせ
- ・ 家族会のご案内
- ・ インフォメーション
- ・ その他

## ●広報委員会だより

### ホームページリニューアルのお知らせ

3月よりメンタルホスピタル鹿屋のホームページを新しくリニューアルいたしました。今回のリニューアルでは、皆様がより利用しやすくわかりやすいホームページとなるよう、ページ構成やデザインに工夫を重ねました。リニューアルされたホームページ上に当院広報誌「おおすみ四季いろどり」N○33もご覧いただけるようになりました。本号N○34も紙媒体での発行とともにホームページへもアップする予定です。パソコンやスマホ等から閲覧していただくと幸いです。

広報委員会では年4回広報誌「おおすみ四季いろどり」を発行しています。原稿依頼、編集、校正、行事などの撮影をおこない、印刷作業、配布作業など発行に伴う一連の作業を委員会で全ておこなっています。ここ数年は新型コロナウイルスの影響を受け、行事の変更、中止など原稿づくりに困惑しましたが、試行錯誤のうえ、なんとか発行を維持することができています。昨年度までは、数名での委員会活動でしたが、今年度は委員増員に伴う委員会活動の活性化と運営見直しを目標にしています。ホームページのリニューアルを機に、広報誌「おおすみ四季いろどり」も継続維持し、皆様に当院の情報を発信してまいります。

### ☆広報誌 2021年度 実績

発行月	内容
4月	・思春期外来 ・認知症疾患医療センター担当者変更 ・新型コロナへの取り組み等
7月	・2020年度患者動向 ・医療従事者向けコロナワクチン接種開始 ・新入職員紹介等
10月	・訪問看護紹介 ・認知症疾患医療センター事業報告 ・チーム医療(心理教育)等
1月	・年始挨拶 ・院内行事 ・栄養科だより ・デイケアひまわり紹介等

●今回、リニューアルされたホームページの一部「メンタルホスピタル鹿屋 院長挨拶」をご紹介します。

挨拶  
メンタルホスピタル鹿屋 小林憲史院長  
当院は「大隅半島の基幹精神科病院として、急性期精神疾患患者は全て受け入れる」を従来からのモットーに運営しています。  
私は平成7年4月から院長として勤務し、これまで様々な改革を実行してきました。手始めは入院治療中心の精神科医療から外来中心への移行、鹿屋市唯一の精神科指定病院の拝命（H19年7月）、訪問看護の導入、デイケアの創設、新棟（185床のみ）移転（H20年10月）、日本医療機能評価機構の認定（H25年9月、その後H30年9月に2回目の認定）、H28年6月には認知症疾患医療センター拝命等です。今後は旧病棟（45床）の移転、グループホーム「集」の充実化などを検討しています。  
当法人の理念、方針の骨子でもある、「地域に必要とされる医療機関になる」ために、常に自己研鑽し良質な医療を提供いたします。

※一部抜粋して紹介しております。興味のある方は当院ホームページ（<http://mhkanoya.jp/>）へアクセスください。

これからもサービス向上のため、コンテンツの充実を図り、皆様のお役に立てるホームページ運営と広報誌発行を目指してまいりますので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

## ●認知症サポーター養成講座

診療技術部 作業療法科 小串貴之  
(認知症キャラバンメイト)

鹿屋市より依頼をいただき、1月19日（水）に鹿屋市内事業所の社員を対象に認知症サポーター養成講座を開催しました。内容の前半は認知症の基礎知識を中心に正しい理解や対応の仕方について講話、後半はスーパーでATM操作が分からなくなり困っている事例を通して、実際場面を想定し参加者にロールプレイをしていただきました。受講後には認知症サポーターの証であるオレンジリングが交付され、参加者8名の方が認知症サポーターとなりました。



現在、鹿屋市の認知症高齢者数が約4千人と推計されており、これから益々増えていくことが予想されます。全国をみても2025年には約700万人、高齢者の5人に1人が認知症になる時代といわれています。今後、地域住民や職域団体等に認知症が理解され、認知症の方やその家族をみんなで支援する、安心して暮らせる町づくりに貢献して参りたいと思います。

☆認知症サポーターとは…認知症を正しく理解し、認知症の人を温かく見守る応援者です。2005年厚生労働省の呼びかけによりこの制度は始まり、新オレンジプランの7つの柱である認知症施策の1つに位置づけられています。

## ●令和4年度 認知症疾患医療センター連携担当員のお知らせ

令和3年7月1日より、認知症疾患医療センターの連携担当員を引き継いだ精神保健福祉相談科 地域医療連携室 西迫淳子が今年度も担当いたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。ご家族や関係機関からのご相談に対応させていただきます。お気軽にお問い合わせください。 専門医療相談窓口 (☎ 0994-36-1870)



## ●令和4年度 家族会のご案内

当院では、ご家族を対象に家族会を定期的に行い、開催ごとに多職種による講話も実施しています。

### アルコール家族会 銀杏のつどい fam

#### 目的

- ・病気の理解を深める
- ・問題解決の糸口を見つける
- ・家族の役割について話し合う

開催日時：毎月 第2月曜日 14：00～予定※

場所：当院会議室 担当：鐘 四元 若松

### 認知症家族会 (いちょうの会)

#### 目的

- ・家族間の悩みや不安を和らげストレスの軽減を図る
- ・認知症を正しく理解し、接し方や介護方法を知る
- ・認知症の方々が安心して暮らせる社会づくりを目指す

開催日時：奇数月 第2火曜日 14：00～ 予定※

場所：当院会議室 担当：二宮 小串

\*コロナ禍で感染状況により、開催を中止する場合がございますのでご了承ください。